

二月五日
大慈寺ニ
自殺ス
賴仲死所
ニ就テノ
考

陷レラル、コト、同年八月三日ノ條ニ、直顯ニ志布志城ヲ陷レラル、
コト、同月十二日ノ條ニ、大始良城ヲ下シテ之ニ據リ、直顯ノ黨ト連戰
シテ、年ヲ踰ユルコト、同年十二月三日ノ條ニ、薩摩ノ南軍ト協力シテ、
大隅木谷城ヲ築クコト、同八年七月十二日ノ條ニ、鹿屋院一谷城、木谷
城等陷リ、其居城大始良亦陷ルコト、同九年二月二十四日ノ條ニ見ユ、

〔參考〕

〔新編伴姓肝屬氏系譜〕

九 兼氏 (正平) 十二年丁酉、北朝延文二年初、畠山直顯取志布

志城、城主楡井賴仲蓋奔大崎、據胡麻崎城、遺墟今在大崎、至是正月二十七日、直
顯及禰寢清種等圍胡麻崎、晦日陷之、二月、直顯又攻松尾城、遺墟在地頭、許志布志村、
大敗其師、賴仲力屈、五日、自殺於寶池菴、一說、晦日、清種等殺賴仲於胡麻崎、據
聖榮、自記及賴仲神主陰文等、則以此
日死明矣、蓋爾、
日詐死、至此爾、

〔島津國史〕

六 鑑公下

正月二十七日、禰寢重種、清増、攻楡井賴仲、賴重於救

仁郷、胡麻崎城、據根、占越右衛門家藏文書、地頭、救仁郷、或作求二郷、即今大晦日、

禰寢清増、重種等陷胡麻崎、殺賴仲、賴重、據根、占越右衛門家藏文書、取之、見初、楡井

應二年八月十二日、而文和三年六月一日、志布志大慈寺新鐘銘云、本年十月
島山修理亮源直顯、又大慈寺藏有直顯觀應二年八月十八日、延文三年十月

南朝正平十二年 北朝延文二年正月二十七日